



みやぎ環境税

未来のために今できること

県では、宮城の豊かな環境を守り、次の世代へ引き継いでいくために、平成23年度から「みやぎ環境税（以下「環境税」）を導入し、さまざまな事業に取り組んでいます。

今回は、平成23年度から平成27年度までの期間に実施した事業の内容についてお知らせします。

環境創造基金の状況

環境税は、課税目的に沿った事業のみ使用し、その使い道を明らかにするため、「環境創造基金」(以下「基金」)に積み立てて管理しています。

平成27年度は、税込と資金運用などで約16億6820万円の収入が

事業の実施状況

県では、低炭素社会の構築に向けた地球温暖化防止に関する取り組みや森林・生物多様性などの自然環境を守り育てる取り組み、また、そうした取り組みを支える人材の育成などの環境問題に対応するための施策を「みやぎブ

リーン戦略プラン」(以下「プラン」として取りまとめ、49の事業に取り組みました(市町村向け事業を除く)。

4つのシーンに区分した主な事業を次ページに掲載します(表)。

二酸化炭素削減効果と平成28年度以降の取り組みに向けて

昨年、フランスのパリで開催された国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)では、気候変動に対する新たな法的枠組として「パリ協定」が締結されました。これを踏まえて、国は平成42年度までに平成25年度比で温室効果ガスを26%削減する中期目標を定めました。

一方で、県は「宮城県地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」において、平成32年度の排出量を平成22年度比で3.4%削減するとの目標を掲げています。

プランでは、二酸化炭素の削減予定量を5年間で約35万6000トンとしていましたが、各事業に取り組んだことにより、約96%に当たる約34万1000トン削減することができると見込みです(図)。

しかしながら、最新のデータである平成24年度の温室効果ガス排出量は、

図 5年間の二酸化炭素削減量のイメージ



震災の影響などもあり、基準年の平成22年度比で約3%増加しています。

県では、平成32年度における目標値の達成に向けて、平成28年3月に「新みやぎグリーン戦略プラン」を策定し、引き続き建物・設備の低炭素化、再生可能エネルギーの導入、森林の保全・機能強化、生物多様性の確保、環境立県を支える人材の充実などを進めていきます。「みやぎ環境税」活用事業について、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

表 事業の実施状況 ※(金額は税充当額)

シーンⅠ	地球にやさしいライフスタイルの創造 (全11事業 約25億円)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅用太陽光発電普及促進事業 (H23～H27年度)▷11億4000万円 設置戸数:17534戸 住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助 ●県産材利用エコ住宅普及促進事業 (H23～H27年度)▷11億6176万円 木材使用量:4万3774m³ 優良品やぎ材などの県産材を一定量以上使用した木造新築住宅の建築に対する補助 ●環境教育実践「見える化」事業 (H24～H27年度)▷1609万円 取り組み校:102校 小学生を対象にした環境教育「出前講座」および、学校での環境配慮行動の実践 	県産材を利用したエコ住宅
シーンⅡ	環境と調和した産業の振興 (全9事業 約10億円)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネルギー・コスト削減実践支援事業 (H23～H27年度)▷5億8125万円 補助件数:214件 省エネルギー対策を実施する民間事業者に対する補助 ●新エネルギー設備導入支援事業 (H23～H27年度)▷2億8897万円 補助件数:96件 太陽光発電などの自然エネルギー利用設備を導入する民間事業者に対する補助 ●グリーンエネルギー・省エネルギー関連新製品創造支援事業 (H24～H27年度)▷3848万円 補助件数:19件 グリーンエネルギー・省エネルギー関連の新製品を開発する民間事業者に対する支援 ●みやぎエコツーリズム推進事業 (H24～H27年度)▷5506万円 エコツアー参加者:197人 エコツーリズムの普及啓発や環境学習旅行に対する支援など 	木材の利用につながるまきボイラー
シーンⅢ	環境立県を支える人材の育成 (全15事業 約6億円)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●サンクチュアリセンター機能充実事業 (H24～H26年度)▷1億77万円 施設改修一式 環境教育の充実を図るための施設の展示・視聴覚設備の改修など ●七ツ森里山環境学習林整備事業 (H26～H27年度)▷3077万円 森林整備面積:37ha 「里山環境学習林」と位置づける七ツ森県有林における森林整備や林内歩道の敷設など ●温暖化防止森林づくり担い手確保事業 (H24～H27年度)▷1527万円 プランナー育成事業受講者数:54人 森林整備の高度な技能を持つ地域リーダーの育成や就労希望者に対するガイダンスの実施など ●グリーンエネルギー利活用実践推進事業 (H24～H27年度)▷5152万円 太陽光発電:5校6基 太陽光発電設備を活用した県立高校での実践的な環境教育カリキュラムの実施に対する支援 	改修されたサンクチュアリセンターの展示物
シーンⅣ	森林機能や生物多様性など基盤の整備 (全14事業 約15億円)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●温暖化防止間伐推進事業 (H23～H27年度)▷8億2568万円 間伐面積:3323ha 手入れ不足により二酸化炭素吸収機能の低下が懸念される若齢人工林の間伐などに対する補助 ●新しい植林対策事業 (H23～H27年度)▷9729万円 植栽面積:78ha 伐採後に植林されていない林地への花粉の少ないスギの植栽などに対する補助 ●里山林健全化事業 (H24～H27年度)▷1億2315万円 ナラ枯れ駆除:3329m² 里山広葉樹林の保全のためのナラ枯れ被害木の伐倒駆除など ●野生鳥獣適正保護管理事業 (H23～H27年度)▷3503万円 ニホンジカ:496頭 イノシシ:51頭 特定鳥獣保護管理計画に基づくニホンジカおよびイノシシの個体数調整やハンター養成講座の開催など 	間伐で整備された森林

※上記の他、市町村支援事業に約13億円充当しています。

<p>みやぎ環境税の使い道に関すること</p> <p>●県環境政策課 ☎022(211)2661 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/</p>	<p>みやぎ環境税の仕組みに関すること</p> <p>●県税務課 ☎022(211)2323 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zeimu/</p>
---	--